

平成29年度業務実績報告における各小項目の自己評価結果一覧

【小項目評価基準】  
 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。  
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。  
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。

参考資料3

大項目	小項目	ウエイト	自己評価結果		29年度業務実績における自己評価の内容（※評価3については記載省略）	
			29年度	(参考) 28年度		
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	4	4→5	全ての指標で目標を上回ったほか、腎・泌尿器センターやリハビリテーション科の新設や、NICUやHCUの病床利用率の向上など、高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実が図られており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	3	目標未達成の項目もあるが、1日あたり入院患者数、新規入院患者数、手術件数及び救急搬送件数は過去最高の数値を上げており、脳卒中領域や循環器内科など様々な分野での高度専門医療の推進、高度救急医療の更なる充実、新型インフルエンザ発生時の対応強化の取組などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	4	4	全ての指標で目標を上回ったほか、「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院として地域の小児在宅医療推進を支援するとともに、「福岡県小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」への参加や、「小児慢性特定疾病児童成人移行期医療支援モデル事業」への参加、独自の移行期患者教育プログラムを実施などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4	150%を超える逆紹介率をはじめ、全ての指標で目標を上回ったほか、大型医療機器の共同利用の促進や医療機関への積極的な訪問など、地域医療支援病院としての役割を適切に果たしており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応		1	3	4		
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	3	4	
	市民病院	2	3	3→4		
(2) 情報発信		1	3	—		
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	2	4	4	意欲ある人材確保のため、「インターンシップ&病院説明会」を6回開催するなど学生の確保に努めたほか、計画的な研修開催による看護職員の資質向上、認定看護師等の資格取得支援、医師支援事務室の設置、病棟クラークを新たに2人配置するなどの取組を総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4	確保が非常に困難な救急専門医の増員を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進、医師の働き方改革の一環として他職種へのタスク・シフティングの推進など職員が働きやすい職場環境づくりに努め、さらに認定看護師等資格取得支援制度の利用推進を図るなどによりスタッフの専門性や医療技術の向上に努めており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	2	3	4	
		市民病院	2	4	4	栄養食事指導・相談件数において目標を下回ったが、感染症専門医を中心に院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全に関しても、M&Mカンファレンスをはじめ様々な取組を通じて病院全体で職員の意識向上が図られており、また、クリニカルパス適用率の向上や薬剤師による安全管理対策の徹底、さらにQIプロジェクト関連で逆紹介率の好事例として紹介されており、これらを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
評価点a			80			
標準点b		66				
(参考) 割合(%)				121% (a/b)		
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実		1	3	3		
2 事務部門の機能強化		1	3	3		
3 働きがいのある職場環境づくり		1	3	3		
4 法令順守と公平性・透明性の確保		1	3	—		
評価点a			12			
標準点b		12				
(参考) 割合(%)				100% (a/b)		
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 経営基盤の強化	(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減	こども病院	2	4	3	積極的な増収対策や費用削減と併せ効率的な病院経営について検討を重ねるとともに、経営に関する3指標(総収支比率、経常収支比率、医業収支比率)すべてにおいて目標を上回っており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4		運営費負担金を前年度から約2億円縮減した計画の中で、経営に関する3指標(総収支比率、経常収支比率、医業収支比率)すべてにおいて目標を上回っており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
(2) 投資財源の確保		1	3	3		
2 収支改善	(1) 収益確保	こども病院	2	4	3	効率的な病床管理による病床利用率の向上や手術件数の増加により、入院収益は78.6億円余となり、前年度より2.4億円余の増となるなど安定的な収益の確保が図られており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	3	4	
(2) 費用削減		2	3	3		
評価点a			39			
標準点b		33				
(参考) 割合(%)				118% (a/b)		
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置						
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実		こども病院	2	5	5	こども病院に求められる役割を果たすため、腎・泌尿器センターやリハビリテーション科の新設など医療機能の充実を図ったほか、厚生労働省DPC公開データにおいて昨年度に引き続き川崎病センター、先天性心疾患にかかる手術症例ともに全国一位となっており、さらに、研究論文が米国一流誌に掲載され、急性弛緩性麻痺が五類感染症として追加されるなど、著しい成果を挙げており、「年度計画を大幅に上回って実施している」と判断し、「5」とした。
2 福岡市民病院における経営改善の推進		市民病院	2	4	4	医療資源の投入を的確に行うとともに、運営費負担金2億円の縮減の中で経常収支比率の目標値を上回っており、また、地域医療支援病院として、地域の医療水準全体の底上げを目標とした諸活動を継続して行うなど、地域の基幹病院としての役割を果たしており、「年度計画を上回っている」と判断し、「4」とした。
評価点a			18			
標準点b		12				
(参考) 割合(%)				150% (a/b)		

※自己評価結果(参考)28年度について・・・市の評価委員会において評価が変更された項目は、変更前と変更後を両方記載(→で表示)。また、29年度からの新規項目については、28年度は「—」としている。